



## 年間の借地料は

答

吾川172万円、仁淀342万円  
池川1,574万円

町全体の借地料は二〇九〇万円。ふれあい公園三一七万は、借地料が高い。利用度から、もつたいないと町民の声があるが、財政の厳しい今対策を考えているか。

田村公園反対の理由は一〇二億円の借金があり、金利は一億八八〇〇万円。借地料も対策を講じる時期が来た、今後の

問 岡田

ふれあい公園  
三一七万円は  
高い！

年間借地料、吾川一七二万八千円、仁淀三四二万三千円、池川一五七四万九千円。内ふれあい公園借地料三一七万三千円、管理費一一〇万円。

答 池川総合支所長

旧三カ町村借地料と池川ふれあい公園借地料、管理費を聞く。

問 岡田良成

対策を聞く。  
公園管理費は、常任委員会で職員がボランティアできないかとの意見があつたが。

ふれあい公園は、借地料で年間総額五三〇万円。費用対効果を認識し、町の財政を考える時、町全体の借地、施設の問題など町長の英断を下す時期が来たと思う。

問 岡田

下す時期だ  
英断を

公園管理費は努力をしているが、ボランティアの実施は、まだ行っていない。

池川地区借地料は吾川、仁淀より単価が高い契約になっている。町全体の問題として解決に努力する。

答 池川総合支所長

池川地区的借地料は高

答 町長

いが、契約があり、下げることは抵抗があると思う。

財政負担を軽くするに

は、問題を解決していくよう、広く意見を聞き対策を考える。

## 余能地区

# 崩壊の恐れは

答 調査してみる

答 池川地域振興課長

余能地区は非常に急峻で崩壊の恐れがあると聞くが。

な地形で調査を行い、必要であれば県に要望する。



イロウ谷（余能）



第2回サステナブル建築賞を受賞した橋原町庁舎

**太陽光エネルギーを  
研究しては  
検討する**

**答****検討する****問**

農本規仁

町は、NEDOと木質バイオマスエネルギー実験事業を行っている。間伐促進、CO<sub>2</sub>削減にも重要なと考える。

石油は四十年、天然ガス・ウランは六十年でなくなるといわれ、地球温暖化防止のため、各機関で化石燃料に代わるエネルギーが研究されている。

**答**  
町長

オマスエネルギーや太陽光などの活用も検討していく。

**答**  
教育長

自然環境の大切さと、地球環境を考える教育を行っており、環境負荷の低減や自然との共生を図つていくことは重要である。

ただ発電単価が高いので、今後の技術の進歩に期待する。

**NEDOに  
応募しては****問**  
農本

NEDOは、自治体、企業に、太陽光発電新技術等フィールドテスト事業という、八〇億円規模の共同研究、研究助成事業を募集しているが、検討している。

**答**  
副町長

事業の導入には、環境面、経済面から検討が必要なこと、京都議定書の採択を受け、公共団体は、地球温暖化対策地域推進計画を策定し、温室効果ガス排出抑制に努めなければならぬとされ、木質バイ

要で、二〇kwシステムで年間CO<sub>2</sub>を六七t削減できるが、投資額を取り戻すのに二十三三十年かかる。

発電効率に留意し、採算性も考え慎重に検討していく。

**電気代はいくら****問**  
農本

CO<sub>2</sub>と引き換えに電気を使っている各庁舎、各学校の電気代は。

**答**  
総務課長

各庁舎合わせて年間六千円。小中学校は七八八万八

**問**  
農本**タダになれば**

コスト面で課題もあるが、老朽化した町施設もあり、今後の施設整備の中では当然考えていく。

**答**  
町長

科学的に分析し十分検討する。

五kwの発電設備で十五日間で三三〇kw発電をし、二八kgのCO<sub>2</sub>に換算で一千六百kgのCO<sub>2</sub>削減が、年間八〇〇kw発電することになる。

環境教育の実践になり勉強にも活用でき、余った分を売電できれば、経費削減になるが。

補助事業に手を上げ、国が半分、町内で頑張る企業が四分の一、町が四分の一で、昼間の電気代がタダになれば町内の産業、企業の育成にもつながるが。

今後、大規模改修、新築などあれば検討する。

**答**  
教育長



# 町有林を全伐せよ

**答 研究したい**

特に高知県、中でも本町は植林率が九〇%を超え、人が杉に追い出されるような状態になった。水が増えると植林をしたが四十年経った今、杉、ヒノキが成長し、沢に水が多くなり、サワガニや土居川にイダが少なくなっている。

昔は田畠に肥料をやらなくて、干草だけで農産物が取れた。それは水が豊かだったからだ。町長の集落の水源も涸れた。

植林は全伐すれば、金になる、水も増える、環境も良くなる、仕事も増える、若者定住にもつながる。町有林を全伐し、先の見える明るい町づくりの模範を示すべきだ。

今、地球温暖化対策は世界の最重要課題だ。日本は四五年前位から水源確保対策など、補助事業で杉、ヒノキの植林を全国に奨励してきた。

**問 大原儀郎**

森林組合や関係機関と連携を図り、林産体制などを検討し、効率的で効果的な森林施業を考える。

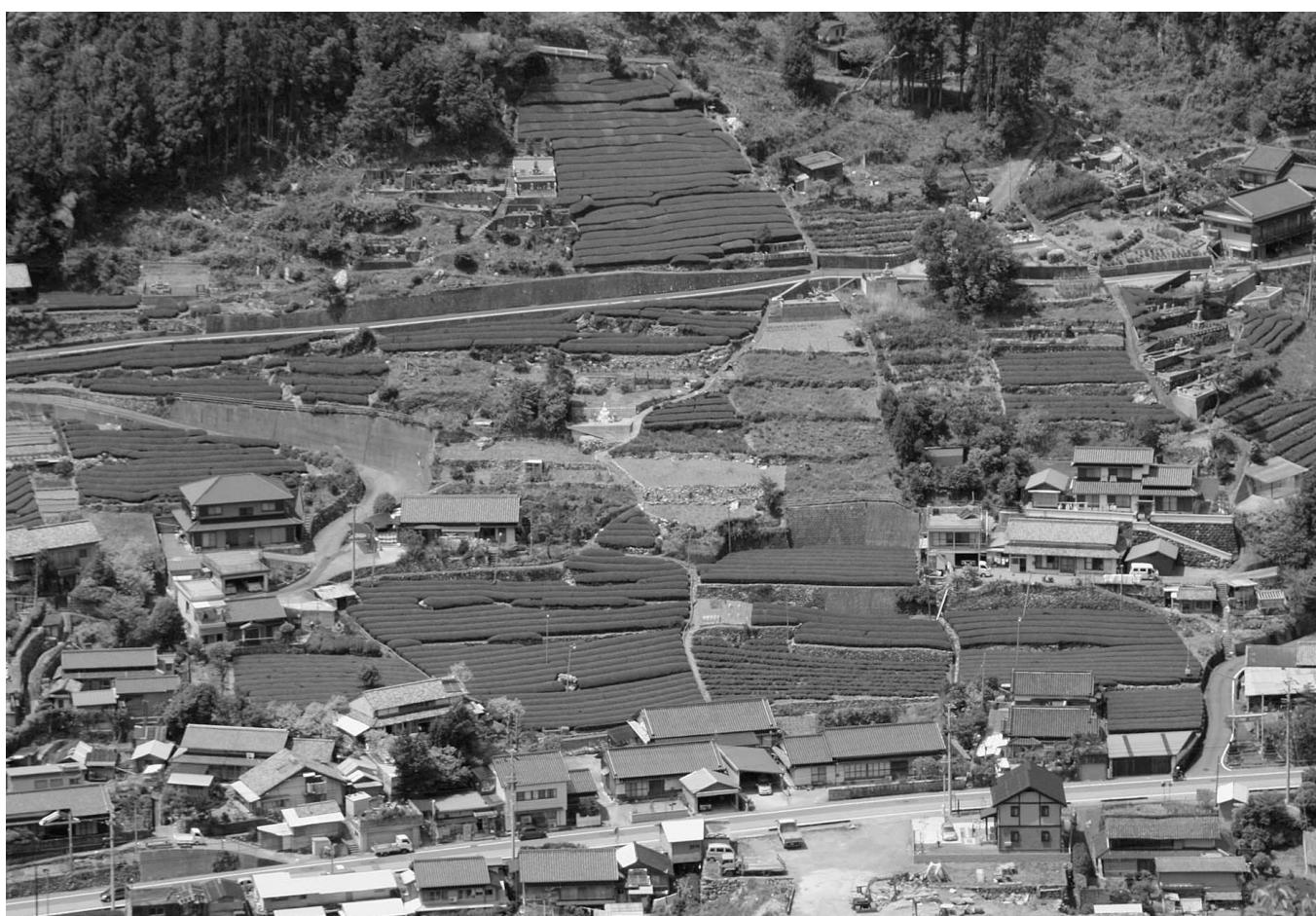
町の所有する山林は七六〇haある。管理に、各種補助事業の導入などで対応しているが、まだまだ不充分だ。

**答 副町長**

**田村の水源は涸れた**

**答 町長**

水には苦労している。田村の水源は周辺の植林が今では成木になり、集水面積もあるが、水に対する考えは、同感だ。全伐には地形なども併せて研究したい。



水が枯渇した田村地区、芸予地震が疑われたが、人工林が原因との指摘もある。



439有機協は有機農業パイオニア山下一穂氏の指導を受け誕生した。(9月28日 日浦)

昨今石油類の高騰が世界的な大問題となってきた。特に我が国最大の輸入国、アメリカやブラジルは石油の代替エネルギーとして国策で穀類をエタノールにする事業を法律化したようだ。

本町も農業の振興は避けては通れない時代となつた。有機農業の奨励を推進すべきでは。

農産物のエタノール化で輸入農産物は高騰し、また中国の冷凍食品に農薬の混入など、大きな社会問題になつた。

国も、安全な食糧の増産、地産地消の奨励を行っている。

本町も「439有機協議会」に加入し勉強会や試験栽

問 大原

(答) 439有機協と伴に：

答 町長

培を始めている。

農協と連携を図り、有機農業の推進を考える。

# 有機農業を推進すべき

ソニア

## 主力を製材から素材生産へ

(答) 新人養成は厳しいが、検討する



間伐作業（森の工場・長坂山）

ソニア設立の原点は、山で働く人材育成のはずだった。主力を製材にいたため、年に一億一千数百万円の赤字を二年続けて出したが、林産は黒字の報告だ。

製材は量産だけで利益が出るものではない。適量を製材し、人員を五六人減らせば好転すると聞いた。

答 町長

余剰人員は設立の原点に戻し若者を養成した方が良いのでは。

林産事業の新人養成は厳しいが、検討する。

問 大原

原本市場に木材があまり出でていない。それは山に働く人が足りないからだ。

鹿児島県では赤字続きの第三セクターを四年前解散し民間委託、企業は生産を半分にし、地産地消で成功している。

昨年末より、二交代制の見直しを始め、大幅な改革を行つている。この整理がつけば、工場内の余剰人員を林産部へ配置し、九人三班の素材生産体制を強化して行くことが、森林資源の有効活用と雇用の場の確保につながり地域活性化になると考へる。



**福祉タクシー**

# ガソリン代を出せないか

**答　かつて目的外使用があった**

## 障害者福祉タクシー券交付状況

18年度				
	吾川	池川	仁淀	計
対象者数	113	115	120	348人
交付者数	95	67	91	253人

19年度				
	吾川	池川	仁淀	計
対象者数	109	109	118	336人
交付者数	78	62	83	223人

**答　産業建設課長**

本年度の被害は五十件で、猟友会、鳥獣保護員に駆除を依頼し、県の被害対策事業も取り入れ対応している。

鳥獣被害は山が植林され、えさ場が無くなつたことが原因だ。そこで、中に雑木林の部分を作ることになる木を植え、鳥獣が生息できる自然林を町有林で進めモデルにしてはどうか。被害状況と今後の対応を聞く。



防護さく（津江）

## 福祉タクシー

# ガソリン代を出せないか

**答　かつて目的外使用があった**

**問**

片岡政徳

福祉タクシー助成金制度で、対象者の中には車椅子での移動に介助が必要で、福祉タクシーを利用できず自家用車を利用する人がいる。

福祉タクシー利用に見合ったガソリン代を支給する制度が近隣の町にあると聞くが、導入できないか。

**答**

保健福祉課長

ソリン券の助成があつたが、目的外使用があり、対象者のニーズなど踏まえ、慎重に検討していきたい。

**問**

片岡

検討し前向きに導入するに受け取つていいか。

**答**

町長

ガソリン券は問題もあつた。地域通貨券なども考え、福祉に応えていく。

**問**

片岡

年々鳥獣の作物被害が増えている。椎茸を作つても猿に取られ、猪はあらゆる作物を荒らし、カミソの若葉を食べるといつた食糧難となつてゐる。

木も増え鳥獣のえさ場になる。町有林の長坂山で作業道の法面などにクヌギ、ナラ、ブナなどを植え、自然の広葉樹を残していく、長坂山の取り組みが鳥獣の保護にもつながりモデルになると考へる。

**問**

片岡

間伐ではえさ場となる状態にはならない。谷周辺で条件の合う一部を全

**答**

町長

全伐よりも強度間伐をし、その中に広葉樹などを植樹していくことを検討していく。

**答**

# 強度間伐で対応

# 鳥獣が生活できる山に



タクシー

業者への影響はデータ収集が困難で把握できない。  
マイナス面はタクシーユ用者の減、プラス面はバス利用者の復路便のタクシー利用。

また平成二十年度の予算編成作業で、児童生徒

入でタクシー会社がピンチになつてているが対策は。

答

企画課長

問

野村

コミュニティバスの導入でタクシー会社がピンチになつてているが対策は。



## タクシー会社への影響は

答

データ収集が困難

コミュニティバスの利用状況による行先の変更はできない。

答

企画課長

問

野村

の登下校やクラブ活動などの移動でタクシーに配慮し、利用促進を図る予算を計上している。

## 食料品の安全チェックは

答 可能な限り行っている

食の安全性が問題になっている。町関連施設、広域の施設で使用する食料品の安全性を最重視し不安のない食材を選定し地産地消に努めている。また検査担当の調理員全チェックはできているが、文部科学省の定める衛生管理の基準により実施し、給食前には、委員会、教職員が検査を行い、衛生管理の基準により実施し、給食前には、委員会、教職員が検査を行い、異常がないかチェックしている。

平成十九年度は、食品安全性対策で国は、輸入食品、県は県内の流通食品の検査や監視指導を行い、食中毒などを予防している。

平成十九年度は、食品安全性対策で国は、輸入食品、県は県内の流通食品の検査や監視指導を行い、食中毒などを予防している。

給食センターでは、安全性を最重視し不安のない食材を選定し地産地消に努めている。また検査担当の調理員全チェックはできているが、文部科学省の定める衛生管理の基準により実施し、給食前には、委員会、教職員が検査を行い、異常がないかチェックしている。



給食風景（名小）

## コミュニティバス

問  
野村安夫答  
教育次長問  
野村

最近は生産地や賞味期限が改ざんされている。未来のある子供たちや、住民の健康維持のため、町で検査をしてもらいたいが。

県では検査しているが町では機器も職員もいない。

答  
保健福祉課長